

羅針盤



太秦中学校
進路指導部
2月14日No.166
松田成司

私学入試、ごくろうさま！

2月10日から始まった、京阪神の私立高校入試がだいたい終わり、いよいよ、発表の時期となってきています。この連休中に発表のあった高校もありました。また、今日以降にある学校もあります。結果については、発表のあった次の日に、担任の先生に報告を必ずしてください。

この日まで、何回か懇談を重ね、みんなの進路を一緒に考えてくださった、担任の先生に一番に聞いてもらわないといけないと思います。よかった時も、残念だった時も、まずは担任の先生に報告してください。

さて、今回の私学入試では、ほとんどの人が、併願受験ということで、いよいよ、今週の16日、17日にある公立前期選抜が本命という人がほとんどです。今回の結果はひとまず横に置いておいて、次なる本命の合格に向けて、さらに、学習を進めてほしいと思います。

しかし、今回の前期選抜においては、各定員の30%，70%，100%と高校や学科において、合格者枠が違います。中期選抜まで受検する人はほとんど受検するので、結構な数の人が残念な結果となります。なので、「合格したら、ラッキー」というくらいの気持ちで受検してほしいと思います。ちなみに昨年度の結果は103人受検して、38人がいい結果でした。ということは、37%ぐらいの合格率でした。

新型コロナウイルス感染症の感染者数がどんどん増える中、受検はまだまだ続きます。体調管理には十分気を付けてほしいものです。また、この前期選抜には、追検査日（3月3日）が用意されています。これは、「新型コロナウイルスに感染した」、または、「濃厚接触者と特定された」人に対して行われます。それ以外の人については、通常に受検ができます。ただし、当日、37.5℃以上の発熱があり、体調がすぐれない人は、追検査日となります。（追試験日の対象は100%募集の高校のみ）

また、「感染者ではあるが、試験開始までに待機がとけた場合」、通常通り受検ができます。また、「濃厚接触者でも受検当日、無症状で条件を満たせた場合」、前期選抜の受検日に、別室にて受検することができます。詳しくは、担任の先生に尋ねてください。

私学専願だった人で合格した人も何人かいます。その人は、この後どうするべきなのでしょうか。以前に言ったように、「入試は団体戦です。」自分だけ決まって、あとは何をしてもいいのでしょうか。いや、「この3年間、一緒にこの太秦中学校で学んできた仲間たちを、次は応援しよう！」となってもらえるとありがたいです。よろしくお願いします。

